



第 2 章
方針
事業報告

2014 年度 董仙会方針

継続的基本方針

今年度は、創立 80 周年記念事業としての恵寿総合病院本館新築、既存棟改修の完成をみる。また、4 月の恵寿みおや開設、7 月の恵寿金沢病院開設を予定する。さらに、徳充会事業としての高齢者複合施設・クリニックの建設を図る。新たな事業とスタッフの増員・受け入れの中で、恵寿としての行動指針を一つにする目的で恵寿フィロソフィを策定した。

地域の人口減少、高齢化に加えて、今年度は消費税増税、診療報酬マイナス改定、急性期医療の再構築を迎え、医療経営環境は厳しさを増す。今こそ、新たなチャレンジを厭わず、そしてこれまで培ってきた介護・福祉部門と医療部門の連携による地域包括ケアを強化する時である。5S と標準化による全体最適を意識していただきたい。

1. 患者・利用者に信頼される介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する

単年度方針

恵寿フィロソフィの周知・浸透

特に、

- ・考え方を一致させる
- ・5S の具体的展開
- ・全体最適を目指した標準化 (Standardization)

TQM センターテーマ登録・発表大会

■前期 第 8 回 2014 年 10 月 4 日 (土) 七尾サンライフプラザ 大ホール

	部署	テーマ
セッション1 『5S』 優秀サークル コールセンター課・法人内施設 「正しい入力を行うために」	本館 5 階東	本館 5 階として 5S の徹底をし、働きやすい職場作りをする
	本館 6 階東西	共用エリアの運用方法を見直して ～5Sを用いて効率化を図る～
	3 病棟 2 階	患者の診察環境を整える
	手術室	5S を考慮した業務の標準化に取り組む ～各科手術器械の展開方法を標準化する～
	外来・医療秘書課・医事課・ リスクマネジメント部会	5S を実践し、外来業務の標準化を図る ～アクシデントの減少を目指して～
	内視鏡課	5S を行いコンセプトに沿った環境づくりと 業務改善
	コールセンター課・法人内施設	正しい入力を行うために
	臨床検査課看護部・薬剤課	気送管をもっと正しく利用しよう

	部署	テーマ
セッション2 『新たな取り組み』 優秀サークル ほのぼの・いこい・楽らく・ 鳥屋診療所いきいき・ 恵寿みおや、広報課 「けいじゅヘルスケアシステム 中能登地区実利用者獲得への 取り組み」	3 病棟 3 階・MSW・リハビリ テーション部・病棟担当者	長期入院患者の退院をすすめ、一般病棟からの受け入れをスムーズにする
	5 病棟 5 階・リハビリテーション部・ 医事課・MSW	地域包括ケア病棟の確立
	5 病棟 4 階・理学療法課・作業療法課・ 言語療法課	充実加算取得へむけての取り組み
	ほのぼの・いこい・楽らく・鳥屋診療 所いきいき・恵寿みおや、広報課	けいじゅヘルスケアシステム中能登地区実利用者 獲得への取り組み
	放射線課	各撮影装置の操作マニュアルの一元管理
	居宅介護支援事業所、サービスセンター、 新規事業関係者	ケアマネジャーの業務を見直し、利用者への満足 度向上・サービス事業所への満足度向上をはかる
医療秘書、連携	医師の事務作業負担の軽減 ～ものごとをシンプルにとらえる～	

■後期 第9回 2015年2月28日(土) 七尾サンライフプラザ 中ホール

	部署	テーマ
セッション1 『現状のブラッシュアップ』 優秀サークル 地域連携課 「紹介件数4,500件を目指して」	5 病棟 3 階	化学療法を受ける患者へ個別性のある継続した看護を行う
	和光苑・鶴友苑・恵寿鳩ヶ丘	維持期のリハビリテーションを考える～老健デイケアの 今後のあり方についての検討～
	地域連携課	紹介件数 4,500 件を目指して
	薬剤課・放射線科・検査課・看護部・ 情報管理課・医療安全部・医局	感染・禁忌・重要情報の整理をする
臨床栄養課・医事課	管理栄養士が実施・関与する加算のトータルマネジメント	

	部署	テーマ
セッション2 『業務改善』 優秀サークル 本館4階東・西 「東西の業務を統一し 安全・安楽な看護を目指す」	医事課	残業削減 de Smile UP!
	医療安全管理室、リスクマネジメント部会 感染制御室、ICT、看護部(主任会)、 看護部感染対策委員会)	医療安全の 5S ～与薬時の確認と手指衛生の遵守～
	本館 4 階東・西	東西の業務を統一し安全・安楽な看護を目指す
	本館 5 階西	業務改善を行い、時間外労働の短縮につなげる
	本部事務局・総務部・財務部	第一回サーベイランスISO審査に向けて

	部署	テーマ
セッション3 『新しい取り組み』 優秀サークル 医療福祉相談課・鶴友苑・和光苑・ 恵寿鳩ヶ丘・居宅介護支援事業所・ ほのぼの・エレガントなぎの浦・ エレガントたつるはま・ ローレルハイツ恵寿「けいじゅ」による地域包括ケアシステム構築への検討 ～グループ保有のベッドの有効活用を中心に～	健康管理センター	人間ドック機能評価の取得に向けて
	鳩ヶ丘・和光苑・鶴友苑・総務課	働きやすい職場を目指す ～多様な勤務形態の模索～
	医療福祉相談課・介護事業統括部・ 徳充会	「けいじゅ」による地域包括ケアシステム構築への検討 ～グループ保有のベッドの有効活用を中心に～
	血液浄化センター・臨床工学課	スムーズな移転をするには
	臨床工学課	1年で1人前の技士に ～新人育成チームの奮闘記～

董仙会事業報告

- 2014/04/01 第五代病院長として山本健就任（恵寿総合病院）
- 2014/04/05 中能登町に小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」オープン
- 2014/04/07 恵寿総合病院 Web サイトリニューアル
- 2014/05/09 能登初カプセル内視鏡大腸検査導入（恵寿総合病院）
- 2014/05/15 第3回医療連携のつどい開催（恵寿総合病院）
- 2014/05/16 看護相談・西湊保育園プチナース体験を開催（恵寿総合病院）
- 2014/05/19 5/19 がん患者サロン「Smile～すみれ～」開設（恵寿総合病院）
- 2014/05/23 「中国人検診ツアー」の11名の受け入れ（恵寿総合病院）
- 2014/05/29 和光苑がNHK金沢放送局の取材を受けました（6月3日放送）
- 2014/05/29 恵寿総合病院本館が「平成25年照明普及賞」を受賞
- 2014/05/29 ボウリング大会「けいじゅくールビズ杯」を開催（クアトロブーム鹿島）
- 2014/06/03 のとメディカルネット説明会開催（恵寿総合病院）
- 2014/06/05 西湊地区老人福祉大会に「けいじゅ5」参加（和光苑）
- 2014/06/24 能登初の院内助産開始（恵寿総合病院）
- 2014/06/26 理事会・評議員会
- 2014/07/01 「恵寿金沢病院」（旧NTT西日本金沢病院）除幕式を開催
- 2014/07/01 県内初「地域包括ケア病棟」開設（恵寿総合病院）
- 2014/07/01 「心大血管リハビリテーション」開始（恵寿総合病院）
- 2014/07/04 「和光苑」と、「産業技術総合研究所」の取り組みがNHKワールドTVにて放送
- 2014/07/04 恵寿総合病院が第35回石川建築賞優秀賞を受賞
- 2014/07/05 糖尿病患者の集い開催（恵寿総合病院）
- 2014/07/08 わくワーク体験受け入れ（恵寿総合病院）
- 2014/07/09 認定看護師に4名が合格（恵寿総合病院）
- 2014/07/10 屋上ヘリポートで初の患者受け入れ（恵寿総合病院）
- 2014/07/12 第6回北陸地区脳神経リハビリテーション看護研究会開催（恵寿総合病院）
- 2014/07/22 インターネット回線をつかったLync会議開始（恵寿総合病院・恵寿金沢病院）
- 2014/07/28 石川県医師会医療功労者表彰式・5名が表彰
- 2014/08/01 インターネットサービス「KEIJU Wi-Fi」導入（恵寿総合病院）
- 2014/08/01 公式YouTube開設
- 2014/08/01 恵寿総合病院CM放映開始
- 2014/08/04 高校生インターンシップ受け入れ（恵寿総合病院）
- 2014/08/09 久保市乙剣宮窪市緑日協賛（恵寿金沢病院）
- 2014/08/12 経済産業省・経済産業省政策局長が恵寿総合病院を視察
- 2014/08/19 「出前授業 in 七尾高校」を実施
- 2014/08/25 第3回 心のコンサート開催（恵寿総合病院）
- 2014/09/01 「自衛消防隊訓練大会」敢闘賞を受賞（恵寿総合病院）
- 2014/09/01 訪問リハビリテーション開始（恵寿金沢病院）
- 2014/09/02 「安全衛生優良事業場」石川県労働局 奨励賞を受賞（恵寿鳩ヶ丘）
- 2014/09/06 「地域防災訓練」を実施（恵寿総合病院）
- 2014/09/11 創立80周年記念日

2014/09/14 職員旅行（竜王アウトレットパーク）
 2014/09/19 「出前授業 in 門前高校」を実施
 2014/10/01 恵寿鳩ヶ丘施設長・鳩ヶ丘クリニック院長として宮本正俊就任
 2014/10/01 「中国人検診ツアー」の4名受け入れ（恵寿総合病院）
 2014/10/01 地域包括ケア病床10床開設（恵寿金沢病院）
 2014/10/07 前期TQM大会「クスリのアオキヘルスアップセミナー in 七尾」開催
 2014/10/10 産業医科大学公衆衛生学教授 松田晋哉氏講演会を開催（恵寿総合病院）
 2014/10/19 「石川県介護・福祉総合フェア」に出展
 2014/10/21 理事会・評議員会
 2014/11/01 「プライマリ・ケアの明日を探る特別フォーラム」を開催（金沢都ホテル）
 2014/11/08 「第42回北陸診療録管理研究会」を開催（恵寿総合病院）
 2014/11/01 「低血糖患者搬送・救急隊との合同シミュレーション」を開催（恵寿総合病院）
 2014/11/20 「出前授業 in 小丸山小学校」を実施
 2014/11/27 「厚生労働省実証事業運営委員会」を開催（恵寿総合病院）
 2014/12/01 NHK ニュースおはよう日本「産科医療の現状と新たな取り組み」放映
 2014/12/01 全入院患者さんがKEIJU Wi-Fiを利用可能に（恵寿総合病院）
 2014/12/02 兵庫県立大学大学院 経営研究科教授 筒井孝子氏講演会開催（石川県立七尾美術館）
 2014/12/04 恵寿金沢病院にてドラマ「花嫁のれん」ロケ 女優・羽田美智子さん来院
 2014/12/25 けいじゅヘルスケアシステム大忘年会開催（和倉温泉 加賀屋）
 2015/01/05 新年互礼会・自衛消防隊出初式
 2015/01/06 産総研広報 YouTubeにて介護老人保健施設「和光苑」の取り組みを放映
 2015/01/07 けいじゅヘルスケアシステム 成人式を実施
 2015/01/16 小児予防接種をコールセンターにて電話予約開始（恵寿総合病院・鳥屋診療所）
 2015/01/23 介護老人保健施設 鶴友苑が「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」の許可
 2015/02/05 Webサイト「医療の質を表すクリニカル・インディケーター」を掲載（恵寿総合病院）
 2015/02/11 Webサイト人材募集ページリニューアル
 2015/02/05 脳死下臓器提供シミュレーション実施（恵寿総合病院）
 2015/02/25 日本医療機能評価機構病院機能評価受審（恵寿金沢病院）
 2015/02/28 後期TQM大会開催（七尾サンライフプラザ）
 2015/02/28 ローレルハイツ恵寿・恵寿ローレルクリニック引渡し
 2015/03/05 日本人間ドック学会認定人間ドック健診施設機能評価受審（恵寿総合病院）
 2015/03/07 高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」竣工式・内覧会実施
 2015/03/16 クスリのアオキヘルスアップセミナーに参加（金沢市文化ホール）
 2015/03/17 「恵寿総合病院 医学雑誌」発行
 2015/03/16 恵寿ローレルクリニック診療開始

メディア掲載

- 2014/04/04 「慢性期医療充実を」 恵寿総合病院・山本院長が抱負（北國新聞）
- 2014/04/06 小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」オープン（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/05/08 消化器病学会市民公開講座（北國新聞）
- 2014/05/09 能登初カプセル内視鏡大腸検査導入（北國新聞）
- 2014/05/16 看護相談・西湊保育園プチナース体験を開催（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/05/19 がん患者サロン「Smile ～すみれ～」開設（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/05/23 恵寿総合病院の情報システム（月刊新医療 6月号）
- 2014/05/23 「中国人検診ツアー」の11名の受け入れ（北陸放送）
- 2014/06/03 産総研・和光苑共同研究でビッグデータ活用（NHK 金沢放送局・NHK ワールド）
- 2014/05/29 「平成 25 年 照明普及賞」受賞（北國新聞）
- 2014/06/24 能登初の院内助産開始（北國新聞）
- 2014/07/01 「恵寿金沢病院」除幕式を開催（読売新聞・北陸中日新聞）
- 2014/07/04 第 35 回石川建築賞優秀賞を受賞（北陸中日新聞）
- 2014/07/11 屋上ヘリポートで初の患者受け入れ（北國新聞）
- 2014/07/18 和光苑 100 歳お祝い（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/07/16 不妊症認定看護師県内初の合格・恵寿総合病院・前濱看護副部長（北國新聞）
- 2014/07/16 心臓リハビリテーション施設基準（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/07/20 医の潮流・神野理事長インタビュー（月刊北國アクタス）
- 2014/08/01 インターネットサービス「KEIJU Wi-Fi」導入（日本経済新聞・北國新聞）
- 2014/08/01 医療ほくりく 地域包括ケア病棟（北陸中日新聞）
- 2014/08/05 鹿西高校インターン受け入れ（北國新聞）
- 2014/08/07 七尾高校・鹿西高校インターン受け入れ（北陸中日新聞）
- 2014/08/15 夕刊コラム「舞台」神野理事長
- 2014/08/20 恵寿金沢病院・上田病院長インタビュー（月刊北國アクタス）
- 2014/08/20 「出前授業 in 七尾高校」（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/08/23 第 3 回 心のコンサート告知（北陸中日新聞）
- 2014/08/23 笑顔とこころでつながる認知症（Web サイト）
- 2014/08/26 第 3 回 心のコンサート（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/09/02 「自衛消防隊訓練大会」敢闘賞を受賞（北陸中日新聞）
- 2014/09/07 「地域防災訓練」を実施（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/09/09 和光苑 100 歳お祝い（北國新聞・北陸中日新聞）
- 2014/09/12 創立 80 周年記念日 看板撤去式（北國新聞）
- 2014/09/12 和光苑敬老会（北陸中日新聞）
- 2014/09/14 恵寿総合病院看護師接遇研修（北國新聞）
- 2014/09/18 「出前授業 in 門前高校」（北陸中日新聞）
- 2014/09/20 恵寿総合病院・岡田診療部長インタビュー（月刊北國アクタス）
- 2014/09/25 がん患者サロンイベント告知 恵寿総合病院 鎌田副院長（北陸中日新聞）
- 2014/09/25 石川県優良勤労障害者・恵寿総合病院田淵さんが県知事表彰受賞（北國新聞）
- 2014/10/13 「得盛 恵寿総合病院 LAWSON マチカフェ」坂本看護師（北陸放送）
- 2014/10/19 分娩医数予測・MCEF 取り組み（朝日新聞 1 面）
- 2014/10/20 神野理事長 恵寿金沢病院・上田病院長インタビュー（web ガレノス）

2014/10/23 聖路加国際病院・細谷亮太医師緩和ケア講演会 in 恵寿（北陸中日新聞）
2014/10/24 石川県内臨床研修病院のマッチング結果公表（北國新聞）
2014/10/28「ねらいを聞く」メディカルツーリズム神野理事長インタビュー（北陸中日新聞経済面）
2014/11/01「プライマリ・ケアの明日を探る特別フォーラム」（北國新聞・石川テレビ・北陸放送）
2014/11/02 病院の実力 胃がん（読売新聞）※アンケート協力
2014/11/06 けいじゅ一本杉に七尾ちゃんこ山（北國新聞）
2014/11/06 ユージン・ベリー非常勤指導医・研修医に指導（北國新聞）
2014/11/13 救急隊との低血糖患者搬送合同シミュレーションを実施（北國新聞・SENSHIN）
2014/11/13 産科医師数予測記事内に MCEF の取り組み紹介（北國新聞・北陸中日新聞）
2014/11/19 損保ジャパン日本興亜様車いすを点検整備（北國新聞・北陸中日新聞）
2014/11/20 医の潮流・恵寿金沢病院横山医師インタビュー（月刊北國アクタス）
2014/11/20 かがのとイブニング MCEF 取組特集（NHK 金沢）
2014/11/20 下肢静脈瘤に新治療・恵寿総合病院西澤医師・中嶋医師（北國新聞）
2014/11/21「出前授業 in 小丸山小学校」を実施（北國新聞）
2014/11/22 和光苑 100 歳お祝い（北國新聞）
2014/11/28 ヘリコプター搬送訓練 県・消防との合同搬送訓練（北國新聞）
2014/12/01 NHK ニュースおはよう日本「産科医療の現状と新たな取り組み」（NHK 全国放送）
2014/12/07 病院の実力 大腸がん（読売新聞）※アンケート協力
2014/12/21 恵寿 ALSO コース開催（北國新聞）
2015/01/05 新年互例会・出初式（北國新聞・石川テレビ）
2015/01/05 恵寿総合病院地域連携の取り組み紹介（石川臨内報）
2015/01/07 けいじゅヘルスケアシステム 成人式（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/01/20 恵寿総合病院・手術実績ランキング（月刊北國アクタス）※アンケート協力
2015/01/20 書籍「65 歳からの住まい選び」ローレルハイツ恵寿（北國新聞社）
2015/01/23 鶴友苑が「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」（北國新聞）
2015/01/24 鶴友苑 100 歳お祝い（北國新聞・北陸中日新聞・テレビ金沢・北陸放送）
2015/02/01 病院の実力 前立腺がん（読売新聞）※アンケート協力
2015/02/17 ローレルハイツ恵寿（雑誌加能人）
2015/02/18 がんサロンイベント告知（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/02/20 恵寿総合病院・手術実績ランキング（月刊北國アクタス）※アンケート協力
2015/02/26 石川県産業振興賞 ほのぼの銭元さん・和光苑小崎さんが受賞（北國新聞）
2015/03/01 病院の実力 膀胱がん（読売新聞）※アンケート協力
2015/03/03 和光苑 100 歳お祝い（北國新聞）
2015/03/03 雑誌「NEOSYS」神野理事長インタビュー（アステラス製薬）
2015/03/03 恵寿総合病院事務部 100 名が認知症サポーター養成講座受講（北國新聞）
2015/03/07 バクロフェン手術実施 恵寿総合病院川北副院長（北國新聞）
2015/03/08 高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」竣工式（北國新聞・北陸中日新聞）
2015/03/24 雑誌「財界」神野理事長インタビュー（財界研究所）
2015/03/24「百万石減塩レシピ」管理栄養士考案レシピ掲載（北國新聞社）
2015/03/27 中国人看護師採用（北國新聞）

■科目名

消化器外科

■所属医師

神野 正博 鎌田 徹 山崎 圭介 高井 優輝
牧田 直樹

■科目の特徴

当科は消化器外科、乳腺外科、肛門・甲状腺疾患などを担当しています。スタッフは理事長と常勤医4人です。神野正博（理事長、超多忙）、鎌田徹（主に乳がん担当）、山崎圭介（主に消化器外科・腹腔鏡下手術担当）、高井優輝（主に消化器外科・腹腔鏡下手術担当）、牧田直樹（主に消化器外科担当）。非常勤医は金沢大学乳腺外科から2人（井口雅史、石川聡子）です。スタッフは全員、金沢大学消化器・乳腺・移植再生外科（旧第2外科）出身です。

当科の初診は月・水・金が鎌田、火は高井、木は山崎が担当します。外来は原則午前のみで、午後は手術（火曜日は症例検討会と理事長回診）を行っています。

担当している疾患は食道・胃・大腸・膵がんなどの消化器がん、胆嚢結石症・急性胆嚢炎・腸閉塞などの良性消化器疾患、鼠径ヘルニア、乳がんなどです。また消化器内科と絶えず連携し、患者さんにとって最良の治療を行えるようにしています。以前から積極的に腹腔鏡下手術を導入しており、胆嚢結石・急性胆嚢炎・胃がん・大腸がん・鼠径ヘルニア・腹壁ヘルニアに対しては腹腔鏡下手術を第一の選択肢とし、体に優しい手術を心がけています。症例によっては虫垂炎・食道がんに対しても内視鏡手術を行っています。また緊急に手術が必要な急性腹症、消化管穿孔、虫垂炎、腸閉塞、腹膜炎、急性胆嚢炎については24時間、いつでも受け入れる体制をとっています。具体的には休日・夜間でも消化器外科医2人の拘束体制としています。

最近は乳がんに対しても力を入れています。乳腺疾患は毎日、午前の初診医が診ますが、毎週水曜日14時から、金沢大学乳腺外科の非常勤医の診察もあります。金沢大学で乳がん手術をして、当院で化学療法を行っている患者さんも数名おり、乳がんの病病連携を行っています。

また緩和ケア科、麻酔科、薬剤師、MSW、リハビリなどとチームを組んで、化学療法やがんに対する早期からの緩和ケアにも力を入れております。

■2014年のトピックス

外科的疾患のみを担当することとなり、新患者数は減少傾向であるが、手術件数は横ばい。化学療法件数は減少傾向にあります。安全で標準的な化学療法の実施、適切なインフォームドコンセント・セカンドオピニオンを実施しています。

■科目名

内科

■所属医師

宮森 弘年 真智 俊彦 宮本 正治 山崎 雅英
羽山 智之 向井 清孝 大倉 徳幸 谷 まゆ子
佐伯 啓吾

■科目の特徴

内科には、常勤として9名の医師が勤務しています。私、宮森弘年は消化器病、肝臓病を専門としていますが、内科一般の診療も担当しています。また、栄養サポートチームの活動を行っています。真智俊彦科長は専門とする感染症をはじめ、糖尿病、一般内科の診療を担当し、インエフェクション・コントロールチームと共に院内の感染管理を担当しています。宮本正治顧問は糖尿病、内分泌疾患、老年病を専門とし、糖尿病診療チームを率いて七緒の会の育成に取り組んでいます。山崎雅英医長は能登唯一の血液病専門医として血液病全般に対して孤軍奮闘しています。8月より救命救急実行委員長に就任しました。羽山智之医長は腎臓病、血液透析を専門としています。血液浄化部の部長を兼務して日夜の透析業務を取り仕切っています。

向井清孝医員は羽山医長の下、腎臓病、血液透析の専門医を目指しています。大倉徳幸医長は呼吸器病、アレルギー疾患を専門としています。谷まゆ子医師、佐伯啓吾医師は大倉医長の下、呼吸器病の専門医を目指し日夜研鑽しています。大倉医長、谷医師、佐伯医師は増えつつある肺癌の診断と治療に取り組んでいます。

内科の外来においては金沢大学附属病院から血液内科、呼吸器内科、金沢医科大学病院からは腎臓内科、糖尿病、リウマチ膠原病の専門医を招聘し、専門的診療を充実させています。

内科以外の内科系診療科との連携を密にするために、消化器内科、循環器内科、神経内科、家庭医療科と毎朝のミーティングと月曜18時からの

オープンカンファレンスを実施しています。

■2014年のトピックス

家庭医療科との患者をシェアすることにより入院外来単価を上げ、総収入を上げることにつながりました。前年度比103.5%

血液浄化センターは患者数が約10名減少し120人台でありました。

■科目名

消化器内科

■所属医師

宮森 弘年（兼任） 瀧崎 宇一郎 西川 昌志
山田 和俊

■科目の特徴

消化器内科は、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢・胆管および膵臓など消化器の全領域の診断と治療を行っています。2014年より瀧崎宇一郎、西川昌志、山田和俊の3名体制となりました（宮森弘年内科科長は兼任）。カンファレンスで協議を行い意思統一した治療方針のもと診療を進めています。

小腸を含めた全消化管・胆膵内視鏡検査による疾患の診断・治療、肝炎に対する抗ウイルス治療、自己免疫性肝炎・原発性胆汁性肝硬変、肝硬変・肝細胞癌に対する集学的治療や炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎）を中心に治療を行っています。緊急を要する病態（消化管出血、食道静脈瘤破裂や閉塞性黄疸・胆管炎によるショック症例など）に対しては、いつでも迅速に緊急処置ができる体制をとっています。

食道・胃・大腸の早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD：2003年～）、ラジオ波焼灼療法（RFA：2001年～）など高度な専門治療も早い段階から積極的に導入してきました。総胆管結石に対する内視鏡治療は多数の症例（1500例以上）を経験しており、治療総数では全国的にも上位に位置しています。内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）や内視鏡的乳頭大口径バルーン拡張術（EPLBD）により治療を行います。

昨年の内視鏡検査総数は約9,500件でした。2014年7月からは内視鏡システムをすべて最新式のシステムに一新したことにより画像診断能は格段に向上しました。なかでも超音波内視鏡下吸引細胞診（EUS-FNA）の導入により、胃粘膜下腫

瘍（SMT）、膵腫瘍の病理診断やリンパ節生検による鑑別診断などに威力を発揮しています。膵嚢胞ドレナージに対する超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ（EUS-CD）もいつでも可能となりました。また、カプセル内視鏡検査（小腸もしくは大腸）も常時検査可能です。

当科では、できるだけ苦痛のない診断精度の高い検査を行い、安心して検査・治療を受けていただけるよう心がけております。能登地域の医療機関の皆様や大学病院（症例によっては全国の病院）と緊密な連携を保ちながら地域医療に貢献できるよう、消化器内科・内視鏡室スタッフ一同鋭意努力してまいります。

■2014年のトピックス

カプセル大腸内視鏡を導入、EUS-FNAの導入により診断精度が向上した。

■科目名

循環器内科

■所属医師

内山 勝晴 北川 直孝 高島 周

■科目の特徴

循環器内科とは、心疾患と血管疾患の内科的治療を担当する“心臓血管内科”とも言える診療科です。循環器病患者さんの多くは最初に循環器内科を受診されるため、循環器疾患の検査・診断に関しても治療と並ぶ大きな柱と位置付けています。幸い当院には心臓血管外科も併設されており、その手術成績も優れているため、心臓血管外科とは密接に連携を取って、お互いの長所を生かすべく治療に当たっています。

急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）は、一刻も早い確定診断と再灌流療法が必要とされていますが、確定診断に必須の心臓カテーテル検査を実施可能な施設が現在能登北部地区には存在しないため、能登北部で発生した急性冠症候群のほとんどは緊急心臓カテーテル検査施行可能な施設に搬送されており、その多くを当院に搬送していただいております。

当科では、可能な限り苦痛と合併症の少ない心臓カテーテル検査を心掛けています。検査のほとんどは手首の血管（橈骨動脈）からカテーテルを挿入しており、検査終了直後から歩行可能です。PCI 症例に関してもその多くは橈骨動脈穿刺で施行しており、治療後の負担軽減を図っています。そのため患者さんからは「近隣の病院と比べて、検査は楽でした」と高い評価を頂いています。

■2014年のトピックス

心臓リハビリテーションが着実に行われるようになり入院患者平均在院日数が短縮しました。

■科目名

心臓血管外科

■所属医師

西澤 永晃 中嶋 和恵

■科目の特徴

心臓血管外科は、心臓疾患・動脈疾患・静脈及びリンパ系疾患の治療を行っております。担当医は西澤永晃と中嶋和恵の2人で、院内の他部署と連携し、ハートセンターとしてチーム医療を行っております。

恵寿総合病院での外来診療に加え、能登地区の3カ所のクリニック（穴水・富来・門前）においても出張外来を行っております。心臓大血管手術は、虚血性心疾患の外科治療として冠動脈バイパス術・左室形成術や僧帽弁形成術、弁膜症手術、大動脈疾患として大動脈解離・胸部大動脈瘤手術・腹部大動脈瘤手術を中心に、成人心臓外科手術全般の待機及び緊急手術を行っております。ステントグラフトの適応の際には、金沢医科大学血管外科との連携を行っております。末梢動脈疾患としては、閉塞性動脈硬化症に対して、狭窄動脈の内膜剥離術やバイパス術を行っております。最近では動脈硬化性疾患の合併が多く、虚血性心疾患治療と閉塞性動脈硬化症治療を一期的または二期的に実施することが多くなってきており、循環器内科と連携して定期的な症例検討会を行い、最善の治療が行えるような体制を整えています。

能登地区で唯一開心術のできる施設として、今後も能登地域の医療機関・石川県内の医療機関と緊密な連携をとりながら地域医療に貢献して行く所存でございます。

■2014年のトピックス

2014年11月から、従来治療より出血・疼痛等の合併症が軽減できる最新のレーザー治療を導入して治療を開始しています。

■科目名

脳神経センター

■所属医師

東 壮太郎 岡田 由恵 岩戸 雅之 木元 一仁

■科目の特徴

脳神経センターは、脳神経外科と神経内科で構成されています。両者が外来・入院・カンファレンス・拘束体制などを共有し、脳神経外科医3名と神経内科医の1名体制で一体となって診療にあたっています。

当センターは、2000年にストロークユニット(SU)を導入して以来、15年間継続しているチーム医療を実践しています。モットーは情報共有・治療方針の意思統一・患者中心医療です。具体的には、毎日の入退院カンファレンス、週4回の多職種回診、週1回のフィルムカンファレンス、回復期リハビリ病棟での週1回の回診とSUカンファレンス、月2回の症例検討会などです。2000年当時は、ストロークユニットという概念が一般にまだ浸透していない時でしたが、当院ではいち早くこれを取り入れました。これによって、医師間ばかりでなく、看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士、ソーシャルワーカー、薬剤師らの多職種が連携した患者中心の医療が実践されてきました。

また、チーム医療の実践を通じた教育面での貢献も自慢の一つです。医学知識、スキル、プレゼンテーションやコミュニケーション能力などの啓発です。そして、2008年から始まった能登脳卒中地域連携パスというツールの導入も一つの分岐点でした。電子カルテに組み込まれたこのパスは、当院にある全ての端末から、いつでも、どこでも、誰でも、入力が可能です。一人の患者さんのサマリーを多職種が協力して作り上げていく一体感は、患者中心医療を実践しているという実感を一人ひとりに感じさせるものです。さらに、このパスから全能登のデータベースが構築されていて、単な

る書きっぱなしのサマリーとは根本的に異なります。自院のデータベースだけではなく、能登全体のデータベースを作っているという充実感を実感できるこのシステムは、全国的に他に例を見ません。

■2014年のトピックス

新規医療機器（ICG術中血管造影、脳血管造影、血管内手術、3テスラMRI、64列CT）の積極的活用と、tPAなどの積極的治療を行いました。

手術件数前年度比+29%、新入院数+7%と増加しました。

脳卒中再発予防ノートの運用開始しました。

■科目名

整形外科

■所属医師

津山 健 藤巻 芳寧 宮田 岳人

■科目の特徴

整形外科は3名の日本整形外科学会の専門医を取得している専門医常勤医師で診療を行っています。整形外科は運動器の疾患を扱っていますが、その範囲は幅広く、四肢・脊椎の外傷（脱臼、骨折、筋肉、靭帯損傷など）や関節痛、腰痛や上下肢のしびれ・疼痛などの慢性的な変性疾患、また四肢の変形や先天性の機能障害などの治療を行っています。取り扱う範囲が広いのが特徴です。

津山健医師は膝、股関節疾患、関節リウマチを専門にしており、人工関節置換術や生物学的製剤の導入を積極的に行っています。藤巻芳寧医師は脊椎疾患を専門とし、低侵襲手術を目指しています。宮田岳人医師は肩関節疾患を専門とし腱板断裂の内視鏡手術、人工関節置換術を積極的に行っています。外来診療で重点を置いていることは、総合病院の特徴を十分に生かし、MRI等の高度医療機器の積極的運用を行っています。従来は診断が困難であった、不全骨折、骨髄浮腫、骨挫傷などの診断が可能になっています。腰痛などの主訴で受診される患者さんの中には悪性腫瘍の骨転移が隠れていることがありますが、PET-CTもありますので、転移性骨腫瘍の原発巣発見に有用です。

高齢社会になり、骨粗鬆症に伴う骨折が増加しています。当院での、年間の手術件数は300-400件でそのうちの上位は骨折、人工関節手術となっています。ほぼ毎日手術を行っていますが、麻酔科専門医の協力もあり、骨折等、受傷後の早期手術が可能です。

手術だけではなく保存療法も積極的に行っています。中でも高齢者の脊椎椎体骨折は腰痛の訴えで受診しますが、過去にも椎体骨折を起こしてい

る症例も多く、レントゲン写真では診断が困難です。そのためいち早くMRI検査を行い、クリニカルパスを使用して入院します。脊椎椎体骨折のクリニカルパスを導入したのは2012年11月ですが、年間100例程度使用しております。合併症の椎体偽関節、遅発性神経麻痺は生じていません。

■2014年のトピックス

2014年より分野別の診療体制をとっており、専門性の高い治療を行っております。

外来の診療体制として初診患者は全員で均等に診察をし、再診時にはそれぞれの専門分野にあわせて予約診療を行っています。脊椎内視鏡手術を開始しました。

■科目名

家族みんなの医療センター（家庭医療科・緩和医療科・産婦人科）

■所属医師

新井 隆成 吉岡 哲也 藤岡 洋介 伊達 岡要
高藤 早苗 安田 豊 宮坂 麻由子 牧尉 太
小濱 隆文

■科目の特徴

2014年、恵寿総合病院に「家族みんなの医療センター（MCEF: Medical Center for the Entire Family）」を開設しました。これは家庭医療科、産婦人科、緩和医療科が一つのチームになって、ゆりかご前医療からお亡くなりになった後の患者家族との関わりまで一体的に取り組み、全人的医療サービスの強化・維持を図ったものです。さらに2015年3月16日には恵寿ローレルクリニック（KLC）をオープンさせ、これまで家庭医療科が行ってきた病院内での産婦人科・小児科外来診療とけいじゅファミリークリニックでの診療とを引き継ぎ、これまで以上に家族全体を統合的に診療できる環境を整えました。

家庭医は小児から高齢者までの内科や産婦人科に限らない様々な症状や疾患の診療を提供するだけでなく、妊婦健診、小児健診も行っています。ですので、家族みなさんで一人の医師に受診することが可能です。特に子供の世話をしたり高齢者の世話をしたりする世代のご家族には負担軽減にもなります。また幅広くプライマリ・ケア領域の外来・入院診療を担当させていただくことによって、病院領域別専門医がより自分の専門に集中することができ、より高度で質の高いケアの提供につながることも期待しています。現に産婦人科ではこれまでできなかった手術が行えるようになり、分娩緊急時のバックアップ体制が強化されました。能登地域は少子高齢化が進み高齢者を総合的に診ることのできる医師と包括的ケアを提供できるサービスの需要が高まっていることは言うまでも

ありませんが、MCEFはその高齢者を支える若い世代がこの地域に安心して暮らせる医療の提供を重視しています。高まる高齢者医療の需要に対しては、先述のことに加えて、KLCによる在宅診療、MCEFでの在宅、施設からの地域包括ケア病棟への受け入れも含めて、患者やその家族、地域のニーズに応え、在宅から入院、施設あるいはまた在宅へとスムーズなケアの提供に努めています。また担癌患者さんや終末期を迎えようとする患者さんには人生の最期をより安楽に迎えることができるように緩和医療専属医を中心とした緩和ケアチームによる医療を提供しています。

■2014年のトピックス

家庭医が分娩を取り扱う試みが2014年12月1日NHKおはよう日本に取り上げていただきました。

9月ヘルスアップセミナーで講師。小学校、高校で出前授業を行い医療職の魅力を児童生徒に伝えました。11月に金沢都ホテルでプライマリ・ケアに関するミニ学会を開催し、全国から〇〇名が参加しました。地域包括ケア病棟のレスパイト入院を担当し1日10名程度の患者を受け持っています。

■科目名

小児科

■所属医師

柳瀬 卓也 中谷 茂和

■科目の特徴

小児科は新生児，アレルギー，感染症を中心にほぼ小児疾患全般の診断や治療を行っています。さらに当科は金沢医科大学小児科と連携しており大学より神経，循環器，内分泌の各専門医の派遣を受け専門外来を開いています。また金沢医科大学 NICU と連携し出生児に異常が認められた場合に迅速に対応できるように心掛けています。

■2014年のトピックス

2014年より小児科のワクチン接種もコールセンターより予約可能になりました。これにより予防接種を受ける小児の数は増加しています。鳥屋診療所での外来受診者が増加しました。特に12月は400名以上の受診者があり、前年同月比10倍以上の伸びがありました。また神経・内分泌の専門外来も増加しました。

■科目名

放射線科

■所属医師

角 弘諭

■科目の特徴

恵寿総合病院におけるXP（レントゲン写真）、CT、MRI、SPECT、PET等の読影と、血管撮影検査を主な業務としていますが、地域の各クリニックからのCT、MRIの検査依頼とその読影、及び能登地区全域の主病院からのFDG-PETの検査依頼とその読影も行っています。

■科目名

形成外科 美容外科

■所属医師

米村 拓磨

■科目の特徴

形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損などに対して手術を中心とした治療をおこない、機能や形態の面でより正常に近づけるようにする外科系の専門領域です。

美容外科は見た目の不満などに対応して、より美しくすることを目指します。外見的問題とはいえ、心理的な面も含め生活の質に与える影響は小さくありません。日常的によくある外傷や熱傷（やけど）についても、できるだけ少ない痛みで、早くきれいに直るような治療を行ないます。

■2014年のトピックス

2015年1月より月曜日、金曜日のみの診療でしたが、2015年度よりすべての診療日で診療可能となりました。

■科目名

眼科

■所属医師

馬渡 嘉郎

■科目の特徴

眼科は、白内障、緑内障、糖尿病網膜症の診断や治療を行います。その他にもアレルギー性結膜炎、細菌性・ウイルス性結膜炎、麦粒腫（ものもらい）、花粉症、屈折異常（近視・遠視・乱視・老視）、眼精疲労（疲れ目）、睫毛乱生、眼瞼内反症、眼瞼下垂症の診断や治療を行います。

■2014年のトピックス

本館移転に伴い、外来待ち時間は減少しています。また、入院手術件数も増加しました。

■科目名

耳鼻咽喉科

■所属医師

坂本 雅之

■科目の特徴

耳鼻咽喉科は耳・鼻・のど・頸部の疾患の診断や治療を行います。中耳炎や副鼻腔炎、扁桃炎、咽頭炎といった炎症疾患、アレルギー性鼻炎等のアレルギー疾患、めまいに代表される耳の平衡機能失調、さらには頭頸部にできる良性・悪性腫瘍の診断・治療まで行っています。

■2014年のトピックス

2014年10月よりスギ花粉症の患者さんを対象に「舌下免疫療法」による治療を行っています。

■科目名

皮膚科

■所属医師

馬渡 嘉郎

■科目の特徴

皮膚科では年齢や性別にかかわらず、皮膚（毛髪、爪も含む）におこるあらゆる病気、異常の診断や治療を行います。当科では、根拠に基づいた標準的な治療を基本とし、個人の希望も取り入れて治療方針を決定します。また、皮膚病を予防し、悪化させないための生活指導を合わせて行います。

■2014年のトピックス

本館移転に伴い、入外患者数は増加しました。また、予約制の定着や午後診療により外来待ち時間は減少しています。

■科目名

泌尿器科

■所属医師

川村 研二

■科目の特徴

泌尿器科は尿路の外科です。前立腺、腎臓、膀胱、精巣等の手術を行っています。

泌尿器科は痛くない検査、治療、手術を目指しています。超音波、MRI、CT等で羞恥心の少ない、しかも痛みのない検査を行います。医学の進歩、診断装置の進歩によって痛みを伴わない検査でも確実な診断が可能であり、ご高齢の方でも負担がかからない検査で診断し、合併症のある方でも施行できる内視鏡手術、小さな傷で癌を完全摘除できる手術で早期退院を目指しています。

前立腺肥大症と膀胱癌の内視鏡手術は術後1-5日が退院目標です。前立腺癌、腎臓癌、尿管癌等では、小さな傷(6-8cm)の手術を行っています。例えば、前立腺癌の手術である、前立腺全摘除術は、術後7-8日目に退院することを目標に9割の方で達成しています。

■2014年のトピックス

2012年中2月より術後回復強化プログラム（術後短時間で早期離床・歩行）を継続しています。また外来待ち時間の短縮に取り組み、予約時間30分以内に90%以上の診察を行いました。

■科目名

麻酔科

■所属医師

長谷川 公一 櫛田 康彦

■科目の特徴

「手術麻酔管理」「ペインクリニック」を二本の柱に、各診療科と協力しながら、患者さんを中心とした診療を行っています。手術前に麻酔科専門医が、麻酔科外来で診察と説明を行い、安全で質の高い麻酔を提供できるようにしています。また、全身麻酔に、末梢神経ブロックや硬膜外ブロックなどを併用し、手術後の痛みの予防にも努力しています。

「ペインクリニック」では、痛みによって生活が制限されている患者さんに対して、経験豊かなペインクリニック学会専門医が、神経ブロックだけでなく、薬物治療を併用しながら、患者さんの希望を最大限に取り入れ、生活の質の向上をめざして、最適な治療を行っています。また、地域唯一の入院に対応できる疼痛専門診療科として紹介患者にも対応しています。

■2014年のトピックス

手術に関しては術前経口補水、術後早期離床、経口摂取を進めました。ペインクリニックに関しては緩和ケアチーム症例検討会、のと緩和ケア研究会等で活動を行いました。

■科目名

リハビリテーション科

■所属医師

川北 慎一郎 西願 司

■科目の特徴

能登地区で唯一のリハビリ専門医が全科の外来・入院患者様に必要なリハビリ処方を提供しています。

脳卒中による片麻痺患者のリハビリには歩行分析、治療的電気刺激や部分免荷などの先端機器も利用しています。脳卒中および、膝、股関節術後患者様などのリハビリはクリニカルパスにそって能登で唯一の回復期リハビリ病棟で365日休まずリハビリを施行しています。病院で理学療法、作業療法、言語療法などのリハビリ治療を急性期から回復期まで提供し、さらに訪問リハビリも行っています。

■2014年のトピックス

心臓リハビリテーションの開始。回復期リハビリテーション病棟で6単位/日、地域包括ケア病棟で2単位/日を達成。七尾自動車学校と連携し、脳卒中後遺症の方の運転再開をサポート。2015年3月バクロフェン髄注療法の2例目を実施し新聞に掲載されました。

■科目名

健康管理センター（恵寿総合病院）

■所属医師

倉知 圓

■科目の特徴

恵寿総合病院健康管理センターは、3病棟4階に移転し、清潔感溢れる明るい施設になっています。新たにセンター長を迎えて新体制となりました。

さて、当健康管理センターは現在、常勤医師1名、非常勤医師2名、保健師5名、事務スタッフ7名、病院業務と兼務の検査技師2名、放射線技師1名の陣容で、必要時に家庭医療科医師のバックアップをお願いしています。受診者数は2013年実績で、一般健診8,500名、人間ドック870名、一泊ドック450名であり、内視鏡検査数は7,400件、PET健診数は120件になっています。2014年2月から地元和倉温泉の旅館と提携した一泊ドックの運営を開始し、好評を得ています。また、PET-CTセンター開設を機に設定した「メディカル・ツーリズム」への対応も、首都圏や関西方面、国外では中国やロシアなどから受診者をお迎えしています。診療活動としては、病院の「禁煙外来」を担当して、多数の「卒煙者」に禁煙外来修了証をお渡しできました。

2015年の取り組みでは、昨年から実施してきた保健師による勉強会やスタッフミーティングを継続し、積極的な学会参加も進めます。一方、健診システムを最新版に更新して抜本的な業務改善とサービス向上を図る予定です。人間ドック関連では、時代ニーズに合わせたプランを提供できるよう、検討を重ねています。

北陸新幹線金沢開業、能越自動車道が七尾ICまで全線開通し、能登地域が脚光を浴びて多数の観光客が訪れるのは結構ですが、能登に住む人々が安心して暮らせるためには何が必要かを、更に考

えなければなりません。今推進されている「地域包括ケア」では、急性期医療と慢性期医療・介護の連携、言い換えれば「医療保険分野」と「介護保険分野」の連携を超えた一体化が求められていますが、健診分野はそこにあって、地域住民の健康を支える「インフラ」ではないでしょうか。マイ・ナンバーの実施も目前です。健康情報を整理し、必要時に活用できる体制づくりを、他の医療機関や医師会、あるいは行政の皆様と共に考えて行ければと思っています。

■2014年のトピックス

中国からのPET健診（メディカルツーリズム）15名受け入れました。

人間ドック学会の「機能評価認定」を受診、認定は2015年度（予定）

■部門名

中央診療部門

■2014年の実績・トピックス

■救急部：

2014年度救急車搬入数 1,528 件、前年比 99 件増。七尾鹿島広域圏救急車搬入率 44.5%、前年比 1.1%増

■中央手術部：

手術室手術件数 1,769 件、前年比 390 件増。緊急手術 526 件、前年比 75 件減。麻酔科管理 932 件、前年比 119 件減

■血液浄化療法部：

血液浄化センターを 3 病棟 6 階から恵寿ローレルクリニックへ移転

PET-CT リニアックセンター：

中国からの PET 健診（メディカルツーリズム）15 名受け入れ

■内視鏡部：

初の内視鏡件数 10,000 件超え

■放射線部：対前年度比

一般撮影 0%、CT-2%、MRI4%、シンチ +0.4%、PET:+15%、心カテ（PM,PTA 含む）0%、その他血管撮影 -18%

■リハビリテーション部

・回復期リハビリテーション病棟リハビリテーション充実加算を取得

・心大血管リハビリテーション開始

・療法士一人当たり単位数 349 単位

■薬剤部

・後発医薬品数量シェア約 76%、DPC 機能評価係数に貢献

■臨床栄養部

・特別食比率（月平均 62%）、栄養指導件数ともに前年度を大きく上回った

■臨床検査部：対前年度比

検体検査 13.5%、病理 -3.0%、細菌検査

-19.4%、生体検査 -3.9%

■臨床工学部

関与手術は 99 件、インターベーション関与は 52 件、病棟透析（CHDF 含む）は 7 人、外来透析での患者関与は 229 人、機器保守点検は 178 件、節減経費は前年度対比 76.1%カプセル内視鏡業務は 2 件（年間大腸カプセル 3 件）。

■部門名

看護部

■部門代表者

本橋 敏美

■2014年のトピックス

- ・5月16日看護の日・認定看護師による看護相談を、「肺年齢測定」「認知症の方の対応や相談」、「循環器疾患の生活指導・血圧測定」「緩和ケア」の四分野で開催しました。
- ・5月19日化学療法室ラウンジにがん患者サロン「Smile～すみれ～」開設しました。
- ・6月、多くの助産師資格が在籍する恵寿総合病院では、妊婦の選択肢の一つとして能登初の院内助産による出産を導入しました。院内助産を行っている病院は石川県内で2か所のみです。
- ・6月より4西病棟での心大血管リハビリテーションを開始しました。
- ・7月、5病棟5階に石川県内で初めてとなる「地域包括ケア病棟」を開設、9月よりレスパイト入院の受け入れを開始しました。

第6回北陸地区脳神経リハビリテーション看護研究会を講堂で開催し140名の参加がありました。

- ・日本看護協会認定の認定看護師資格を4名が取得しました。不妊症看護認定看護師は県内初合格の快挙を達成しました。
- ・恵寿ローレルクリニックで助産外来を開始しました。

- ・2015年4月採用の外国人看護師の受け入れ準備研修を全職員に向けて開催しました。

- ・2015年4月より高い看護必要度が要求されるハイケアユニット入院医療管理料（10床）取得予定です

すべての病棟において要求される基準の在宅復帰率や看護必要度を満たしました。

■部門名

恵寿金沢病院

■病院長

上田 幹夫

■概要

加賀百万石の城下町として知られる「金沢」中心街の尾張町界隈の一角に位置し、日本三大名園の兼六園も近く、また、友禅流しで有名な浅野川と周辺は閑静な環境にあります。

79床の急性期病床と10床の地域包括ケア病床として中小病院が持つ家庭的でかかりやすい雰囲気を生かしながら、同時に皆様に安心して満足していただける先端医療を続けて提供していくことが全職員の願いです。

■2014年のトピックス

2014年7月1日、「恵寿金沢病院」（旧NTT西日本金沢病院）の発足に伴い、除幕式を開催いたしました。地域に必要とされる病院を目指して日々の診療に邁進していきたいと思います。これからも「恵寿金沢病院」をよろしく願いいたします。

- ・9月、訪問リハビリテーション「けいじゅ金沢」を開始
- ・10月、89床のうち10床を地域包括ケア病床へ移行
- ・10月、血液疾患の患者会「萌の会」開催（ドックセンター）
- ・12月、ドラマ「花嫁のれん」の撮影が行われました
- ・2015年2月病院機能評価 一般病院 13rdG:Ver.1を受審

- ・3月クスリのアオキヘルスアップセミナーに医師相談等に出展（金沢市文化ホール）

- ・近江町市場館にて上田病院長が市民向けワンコイン研修を実施（全3回）

■掲載誌等

- ・10月 WEB サイト「GALENUS.jp」（ガレノス・ドット・ジェイピー）
タイトル：企業立病院から民間病院へ～恵寿金沢病院 上田幹夫病院長インタビュー
- ・11月「月刊北國アクタス」12月号
タイトル：医の潮流 最終回・最新の人工指関節 横山光輝恵寿金沢病院整形外科科長

■部門名

クリニック (鳥屋診療所、田鶴浜診療所、けいじゅファミリークリニック、 恵寿ローレルクリニック、恵寿鳩ヶ丘クリニック)

■所属医師 (院長) 顧問

齋藤 靖人 (鳥屋)

和田 汪 (田鶴浜)

吉岡 哲也 (ファミリークリニック・ローレルクリニック)

宮本 正俊 (恵寿鳩ヶ丘)

・けいじゅファミリークリニックでは来院が困難な方に往診・訪問診療を開始しました。また22時まで電話対応が可能となりました。

・2015年3月「けいじゅファミリークリニック」は、名称を「恵寿ローレルクリニック」と新たに移転し、3月16日(月)より診療を開始しました。従来からの家庭医療科に加えて緩和医療科(漢方外来含む)が加わり、恵寿総合病院から血液浄化センター機能が移転しました。

■2014年のトピックス

・鳥屋診療所では中能登町唯一の小児科として地域に広報活動した結果、夏以降受診者が増加しました(全体で58%増加)。

・鳥屋診療所いきいき通所リハビリテーションでは、地域包括支援センターと協力しながら介護予防講座を5回行いました。

・田鶴浜診療所は「地域の医療機関」として特に七尾市・中能登町が行っている個別健診(特定・長寿)

前年受診者の電話案内や・郵送での案内を行い地域の皆様の健康増進に力を入れました。

診療科：家庭医療(内科・産婦人科・小児科など)
緩和医療科、漢方外来、血液浄化センター

■部門名

介護事業統括部

■部門代表者

小垣 悟

■2014年のトピックス

介護事業統括部では本格的な少子高齢社会の対応に向けた「地域包括ケアシステム」の構築を見据え、住み慣れた地域で在宅生活を中心に、医療・介護・予防・生活支援サービスを途切れなく提供する体制を整えてきました。

- ・4月5日、高齢者サロンや放課後児童クラブが入る中能登町高島の「ラポールみおや」内に通所や宿泊、訪問の3種類のサービスを利用できる小規模多機能型居宅介護事業所「恵寿みおや」を開所しました。
- ・6月3日和光苑と産業技術総合研究所（産総研）が共同して介護現場をITで働きやすい現場を実現する取り組みについてNHKの取材を受け、全国ニュースや国際放送で放送されました。

9月、「介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘」が「平成26年度 安全衛生優良事業場」石川労働局 奨励賞を受賞しました。（安全衛生水準が高く他の模範と認められる事業場等に対して、厚生労働省、各都道府県労働局が実施）

・9月 石川県立門前高校にて将来医療職を目指す生徒たちに向けて介護職5名が「出前授業」を行い「介護福祉士」の仕事について説明しました。

・10月「石川県介護・福祉総合フェア」に出展しました。（石川県産業展示館3号館）

・2015年1月、地域に根ざした在宅生活を支援す

る拠点として取り組んできた結果、介護老人保健施設 鶴友苑が能登地区で2番目となる「在宅復帰・在宅療養支援機能加算」の許可要件を満たしました。

・介護老人保健施設「和光苑」と独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）が共同で行っている研究が、「日本機械学会論文集」にて公開されました。

また、YouTube「産総研広報部」のチャンネルにて和光苑の取り組みが公開されました。

来院者一覧

見学者	見学内容	月日
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	本館建築、情報システム	4.18
ソフトウェアサービス	情報システム	5.14
シダックスフードサービス株式会社 北陸支店管内栄養士会	調理室システム	5.24
第308回地域中核病院研究会「病院マネジメントカンファレンス」参加者	けいじゅサービスセンター、情報システム	6.16
益田地域医療センター医師会病院	地域包括ケア	7.17
医療法人 春風会	けいじゅサービスセンター、情報システム	8.20
松波総合病院	急性期医療と地域包括ケア病棟等の 運用病床管理・運用全般及び各職種の役割	8.26
医療法人 おもと会	本館オープン後の施設、SPD	8.29
株式会社 五井建築設計研究所	病院の施設運営における設計の工夫、 最新の建設技術	9.12
脳神経センター大田記念病院	本館建築、情報システム	9.18
株式会社 駒込SPC	本館建築、情報システム	9.25
神奈川県藤沢市市議会議員	けいじゅヘルスケアシステム全般	10.15
千葉県鴨川市市議会文教厚生常任委員会	病児保育あんず	11.6
伊藤喜三郎建築研究所	本館建築	11.7
医療法人社団 健心会	運営、情報システム、広報活動、人員	11.10
株式会社 グッドライフデザイン	本館建築	11.13
富山大学総合診療部	家族みんなの医療センター	11.13
厚生労働省 地域医療連携の普及に向けた健康情報活用基盤実証事業 第6回運営委員会	本館建築	11.27
医療法人 おもと会	施設見学	11.28
石川県立中央病院	検査室の運営状況	12.2
医療法人 IMSグループ	本館建築	12.10
金沢医科大学腎臓内科	透析センター	1.29
公立松任石川中央病院	医師事務	1.30
松波総合病院	障害者病棟	2.18
三菱商事株式会社	本館建築	2.27
筑波記念病院	本館建築、ローレルハイツ恵寿	3.26